



大規模災害時想定「地震・火災・トリアージ訓練」を実施

当院は、静岡県から2018年4月1日に「災害拠点病院※1」に指定されており、災害に備えて、地震訓練・消火器訓練・夜間想定火災訓練などさまざまな訓練を実施しています。

今年度の「地震・火災・トリアージ訓練」は、医師・看護師・医療技術職・事務職などの職員約230名が参加し、本番さながらに訓練します。

【実績】2024年度80名（トリアージ訓練※対策本部訓練は別日）／2023年度230名／2022年度90名／2021年度実施なし

訓練では、大地震発生時に病院玄関に被災者が多数押し寄せてきた、さらには院内で火災が発生したと想定。組織編成、応援体制について実践することで、近く発生が予想されている南海トラフ地震への更なる対応力向上を図ることを目的としています。

※災害拠点病院は、被災地からの重症・重傷患者の受け入れや搬送、災害派遣医療チーム(DMAT)の保有など、災害時の医療救護活動の中心的な役割を担います。(現在、県内22病院、県西部5病院が指定)

【実施日】 11月29日（土） 9時00分～11時40分

【訓練場所】 聖隸浜松病院内（災害対策本部、外来エリアなど）

【参加者】 230名程度（診療部、看護部、医療技術部、事務部、業務委託・派遣職員）

（訓練目標と各訓練内容）

●目標

- 1、災害対策本部内各統括グループが役割を理解し、情報の集め方・整理の仕方を理解する。
- 2、アクションカード・マニュアルを使用して初動の活動ができるようになる。
- 3、重症患者の受け入れから緊急OPまでの対応の流れを理解する。
- 4、季節、天候に左右されないトリアージ各エリアの配置を検討

●主な訓練内容

- ・各エリア（災害対策本部（写真上）・職員参集場所・トリアージポスト（写真下）等）の立ち上げと運用
- ・アンピックによる安否確認 EMIS入力 等



【取材に関するお願い】

取り上げていただけるようでしたら、**実施日前日11月28日12時までにご連絡ください。**

事前連絡なしでの当日取材はご遠慮くださいますようお願いいたします。

ぜひ、ご紹介いただければ幸いに存じます。

【問い合わせ先】聖隸浜松病院 学術広報室 北岡、太田
浜松市中央区住吉2-12-12 TEL. 053-474-2753 FAX. 053-474-2763